

2023年11月29日

約 8 割の会社員は勤務先企業にワークライフバランス改善を望む

人材紹介会社ロバート・ウォルターズ、首都圏・関西圏の給与・採用動向を発表

グローバル人材の転職を支援する人材紹介会社のロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社は 11 月 29 日、日本を含めた、世界約 31 カ国、数千職種 of 給与相場を無料検索できるオンラインツール「給与調査 2024」を公開しました。同時に、首都圏、関西圏を中心に国内で働く会社員 1,423 人と、国内 170 社が回答を寄せたアンケート調査結果をもとに、国内の採用・給与動向を発表しました。

給与調査 2024 閲覧登録フォーム URL:

<https://www.robertwalters.co.jp/salariesurvey.html>

【会社員・企業】ワークライフバランスに対する意識のギャップ

調査によると 78% (昨年 76%) の企業が従業員の離職・定着率が懸念事項であると認識しています。昨年とほぼ同率であることから人材不足の深刻化に歯止めがかからない現状を企業が危惧していることが示唆できます。ところが、従業員の定着率を危惧しつつもその定着率向上のため、ワークライフバランス改善の取り組みを検討している企業は、わずか 32%、生産性・ワークライフバランスの向上のため、*減給のない週休 3 日制 (週 4 日勤務) の導入を検討している企業も 10%弱という結果でした。

一方、約 8 割の会社員は勤務先企業にワークライフバランス改善に向け真剣に取り組んでほしいと感じていることがわかりました。双方の見解に大きな差があることから、企業が優秀な人材の確保と維持には、ワークライフバランスの問題を優先課題として取り組む必要がありそうです。

【転職】63%が1年以内の転職を視野に入れている

63%の会社員が、1年以内に転職を検討していると回答しました。昨年の結果は 66%だったことから、転職志望者についても横ばいとなっており、上記の企業が従業員の離職・定着率が懸念事項であると認識している結果と結びついていることがわかります。

転職を検討している会社員の割合が最も高かったのは、*経理・財務部門で 71%、次いで金融サービス 68%、転職を検討している割合が最も低かったのは、法務部門で 41%、次いでヘルスケア業界 55%でした。

【企業】人材不足を懸念しながらも対応できない

昨年の調査結果では、企業が最も人材不足が顕著な役職としてミドル・シニアレベルの中堅社員があげられました。人材不足が懸念されることから企業の 93%が昇給を予定していると回答していました。一方、今年の調査では企業の 68%が昇給を予定していると回答しました。

対象者である中堅社員の回答をみると、2023 年、昇給を期待していると回答した会社員は 50%、2024 年に昇給を期待しているは 45%という結果でした。

企業が人材不足を懸念しながらも昇給に至れない要因として、会社員側の回答をみると理由がみえてきました。昇給を不安視する要因は何ですか？という質問に対して、*「自分が働いている業界／ビジネスが、現在の経済状況の影響を大きく受けている」が51%でトップでした。

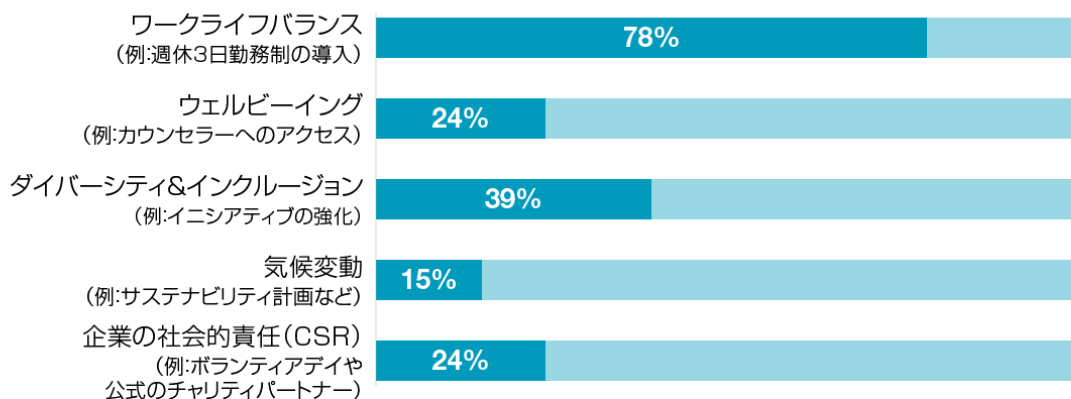
このことから企業は賃金面において、優秀な人材の確保と維持を図りたくともインフレやその他の経済状況の影響を強く受けており、ただちには対応できなくなっている可能性があります。

ロバート・ウォルターズ・北東アジア 代表取締役 ジェレミー・サンプソンは次のようにコメントしています。「パンデミック後、普通の生活に変化がもたらされたことで人材不足が深刻化し、2024年にはさらに強まると予測されています。企業が2024年に優秀な人材を獲得し、維持するためには、従業員のワークライフバランスの最適化を図り、より多様な人材を採用し、企業力を強める必要があるでしょう。」

*グラフなし

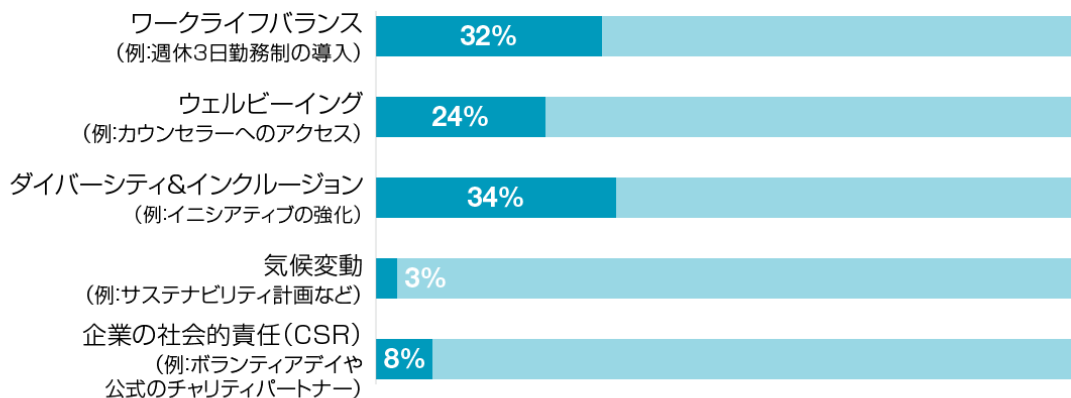
会社員

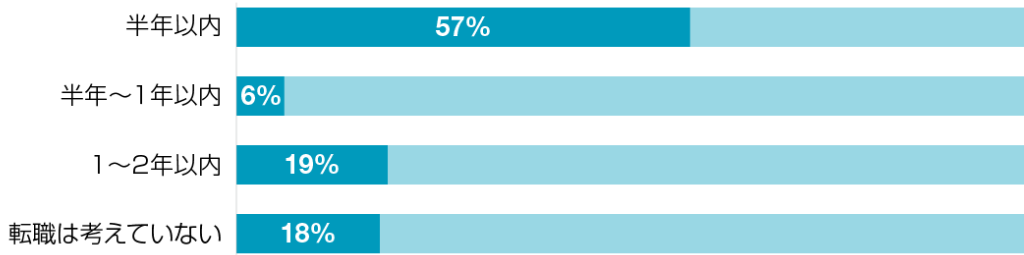
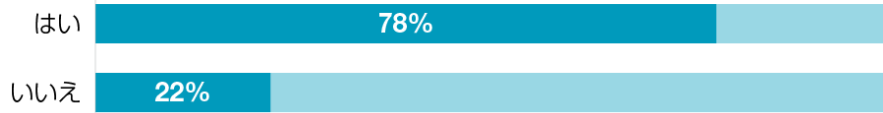
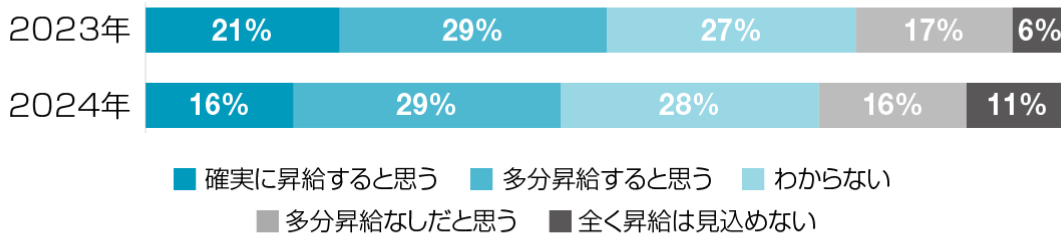
働き手として、企業に真剣に取り組んでもらいたいことはどれですか？(複数回答可)



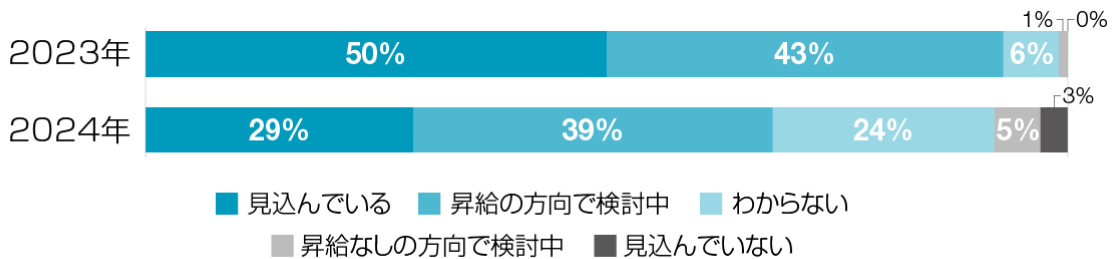
企業

従業員の定着率を高めるためにどの分野の改善に取り組みたいですか？



会社員**次の転職の時期はいつを考えていますか？****企業****従業員の離職率は懸念事項ですか？****会社員****昇給を見込んでいますか？**

■ 確実に昇給すると思う
 ■ 多分昇給すると思う
 ■ わからない
 ■ 多分昇給なしだと思う
 ■ 全く昇給は見込めない

企業**来年、従業員への昇給を見込んでいますか？**

■ 見込んでいる
 ■ 昇給の方向で検討中
 ■ わからない
 ■ 昇給なしの方向で検討中
 ■ 見込んでいない

調査期間：2023年9月～10月

対象：国内企業、外資系の日本法人 n= 170社、当社に登録のある国内で働く会社員 n= 1,423人

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社について (<https://www.robertwalters.co.jp/>)

ロバート・ウォルターズは1985年に英国・ロンドンで設立され、世界31カ国/地域の主要都市に拠点を持つ、スペシャリストのためのグローバル人材紹介会社です。ロバート・ウォルターズ・ジャパンは同社の日本オフィスで、バイリンガル人材に特化しています。2000年に東京オフィスを、2007年には大阪オフィスを開設。グローバル企業、日系企業とともに世界有数のトップ企業から新規参入企業、中小企業に至るまで、多岐に渡る業種・職種、正社員および派遣・契約社員と幅広い採用ニーズに応えた人材紹介をおこなっています。世界で戦う日本人アスリート、各種NPOの支援など日本社会への貢献にも積極的に取り組んでいます。